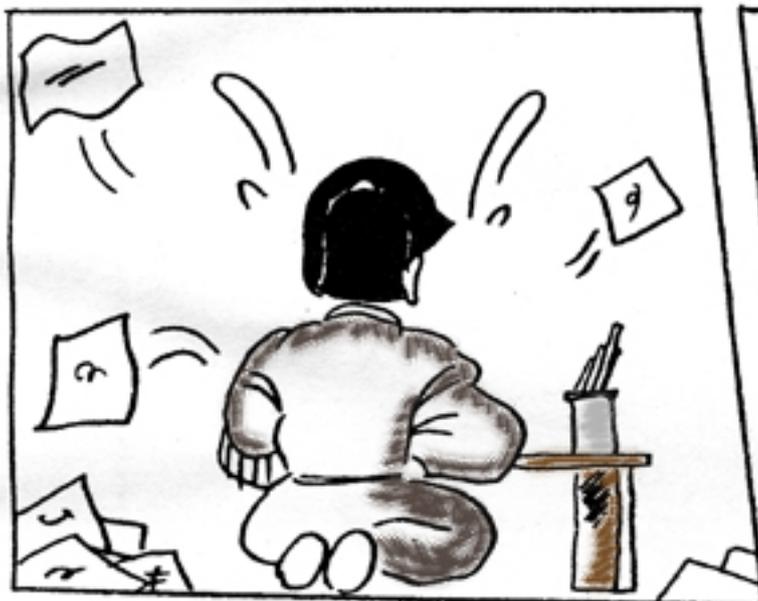
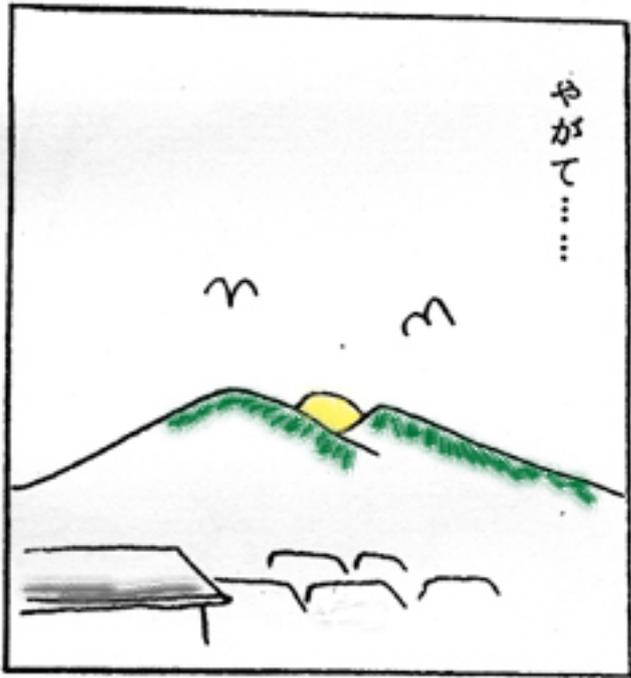


慶応二年（一八六六）
東造を藤蔵と改める。
一四歳



やがて……



おまえは本当にうまくなった。
ところで、今度慶安寺で幽峨
先生の追善画会を開くこと
になった。おまえもひとつ出品
してみてはどうか。

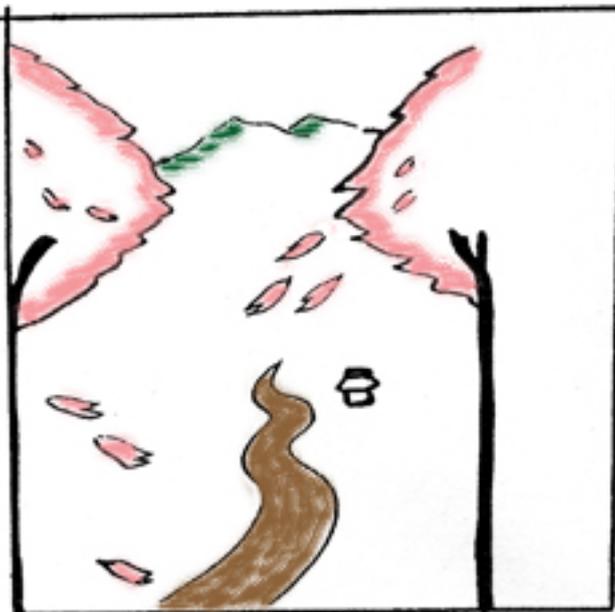


こうして、藤蔵は追善画会に
「髭老人」を出品したのである。

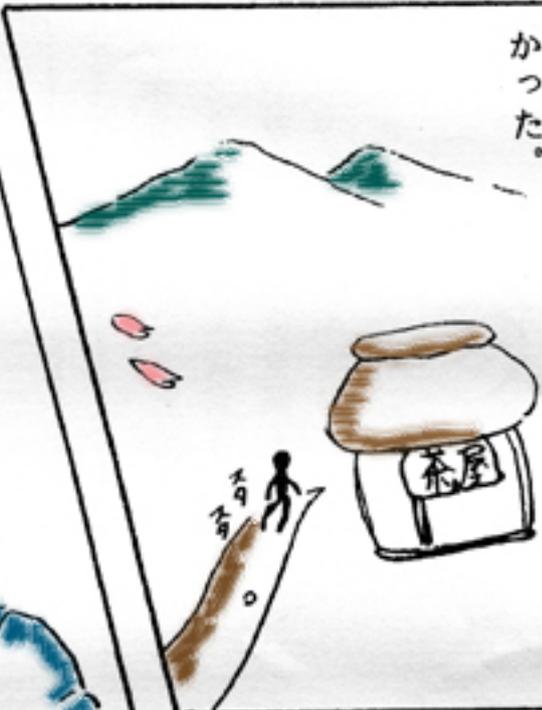


慶応三年（一八六七）
大政奉還
そして
翌年
新しい
時代。
明治を
迎える

藤蔵一五歳



明治七年四月のある日、一人の青年
が日野の山を越え、帝釈峽にさしか
かった。



藤蔵
二二歳



ふー。
今日は暑いな。
一休みするか。

